

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	国際スポーツキャンプの招致・開催支援	<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度	<b>担当課室</b>	競技スポーツ課	<b>競技スポーツ課長</b>	杉浦 久弘			
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	XII-3 我が国の国際競技力の向上					
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	—	<b>関係する計画、通知等</b>	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定)					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	今後、アジア地域においては、世界陸上競技選手権大会(2011年韓国)、ユニバーシアード競技大会(2011年中国、2015年韓国)、ユースオリンピック(2014年中国)等の大規模な国際競技大会が予定されている。これらの大会前に海外チームの事前合宿等が日本国内の国際的なスポーツキャンプ地において行われることは、地域の活性化、国際交流の推進のみならず、日本チームのレベルアップ等我が国の国際競技力の向上にとって重要である。 このため、アジア地域で増大する国際競技大会に合わせて、国内キャンプ地における海外チームのスポーツキャンプを誘致促進し、地域の活性化、国際交流の推進とともに、我が国の国際競技力向上を図る。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	海外チームが競技の特性に応じて、国内にキャンプ地を選定するよう促すため、国外・国内の国際競技大会やキャンプ地の情報の収集・分析を行い、今後、アジア地域で増大する国際競技大会に合わせて、国内キャンプ地における海外チームのスポーツキャンプを誘致促進する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	10	50	64	
		補正予算	/	/	0	/	/	
		繰越し等	/	/	0	0	/	
		計	/	/	10	50	64	
	執行額	/	/	9	/	/		
	執行率(%)	/	/	90.0%	/	/		
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	アジア地域での国際競技大会に合わせて、国内キャンプ地における海外チームのスポーツキャンプを誘致促進し、我が国の国際競技力の向上につなげるのが目的であり、定量的な指標にはなじまない。		成果実績	/	/	/	/	/
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国外・国内における国際競技大会やキャンプ地の視察件数		活動実績 (当初見込み)	箇所	/	/	5 ( 12 )	— ( — )
<b>単位当たりコスト</b>	キャンプ地視察1ヶ所当たりのコスト(1,798,005円/1箇所)		算出根拠	単位当たりコスト＝平成23年度国際スポーツキャンプの招致・開催支援執行額(8,990,024円)／キャンプ地視察数(5箇所)				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	6百万円	6百万円	派遣人数の増加				
	スポーツ振興事業委託費	44百万円	58百万円					
計	50百万円	64百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、スポーツ立国戦略の「国際競技大会の招致・開催支援、スポーツ・ツーリズムの促進」においてその必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業であり、また、スポーツを通じた国際的な交流や貢献は、国際相互理解を促進し、国際平和に大きく貢献するものであり、国際競技大会等の招致・開催を進めることで、こうした国際的な交流の機会を拡充していくことは、広く国民のニーズがある事業である。なお、国内キャンプ地における海外チームのスポーツキャンプを誘致促進といった事業目的を達成するためには、関係省庁、地方公共団体、統括競技団体、中央競技団体等と連携を図りながら事業を進めることが重要であることから、国が総合的に推進していく必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	海外での国際競技大会における情報収集・発信の機会を増やしたことにより、当初予定と比較して単位当たりコストは高くなってしまっているが、費目・使途については、事業目的に即した真に必要なものに限定して執行をしているところである。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本省直接執行により事業を実施していたが、平成24年度からは、より実効性を高めるため、委託事業化を実施している。活動実績については、当初見込みを下回っているが、予算執行における効率化を図ったものであり、国際競技大会等の招致・開催支援のための情報収集・発信は十分に行われている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の執行については、見積もり合わせ等により適正な執行に努めることにより、コスト削減に努めている。</li> <li>・活動実績については、当初見込みを下回っているが、予算執行における効率化を図ったものである。</li> <li>・本事業は、本省直接執行により現地調査等を実施していたが、特に東日本大震災以降、我が国での国際競技大会やスポーツキャンプの円滑な開催に困難な状況がみられ、これを克服するためにも、国際競技大会に係る情報の収集・活用や、積極的な情報発信が重要であるとともに、我が国にふさわしい国際競技大会の在り方を探る必要が生じた。このため、海外における情報収集・発信活動を行えるネットワーク形成を支援する環境の整備や、新たな国際競技大会等の検討を行う委託事業として再構築し、抜本的見直しを行った。</li> </ul>
	—		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、今後、アジア地域において開催が予定されている国際競技大会前に、海外チームの事前合宿等が日本国内のキャンプ地で行われるよう誘致促進し、地域の活性化、国際交流の推進、日本チームのレベルアップ等、我が国の国際競技力の向上を図る事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：当該事業は、概ね計画通りに予算執行されているが、平成24年度は委託事業を実施することからも、更なる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減	平成25年度概算要求において、謝金・旅費の積算単価等を見直し、概算要求に▲3百万円反映した。		
	補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）		
<p>スポーツ基本計画について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm</a></p> <p>スポーツ立国戦略について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm</a></p> <p>スポーツ振興基本計画について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/06031014.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/06031014.htm</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-0081

A. 文部科学省 9百万円

職員旅費 8百万円  
庁費、委員等旅費 1百万円 } を含む

観光庁等と連携し、海外チームが国内キャンプ地を選定するための国内キャンプ地の評価付きガイドを作成するとともに、今後、アジア地域で増大する国際競技大会に合わせて、海外チームのスポーツキャンプを誘致促進する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)(単位:百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
職員旅費	スポーツキャンプ海外先進地視察、国内調査旅費	8			
その他	会議費、翻訳機器借料、資料翻訳業務等	1			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)